

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 明治大学

(2) 大学名

明治大学大学院

(3) 大学の位置

〒101-8301
東京都千代田区神田駿河台1-1

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(ナガホリ モリヒロ) 長堀 守弘 (平成20年4月1日)		
学長	(ナヤ ヒロミ) 納谷 廣美 (平成16年4月1日)		
大学院長	(ヨシムラ タケヒコ) 吉村 武彦 (平成20年4月1日)		
研究科長	(イシカワ マサト) 石川 幹人 (平成20年4月1日)	(ダイコク タケヒコ) 大黒 岳彦 (平成22年4月1日)	任期満了に伴い平成22年4月1日に交代(22)

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称 (学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
情報コミュニケーション研究科 情報コミュニケーション学専攻 (博士後期課程) 博士 (情報コミュニケーション学)	3 年	6 人	18 人	基礎となる学部等 情報コミュニケーション学部 情報コミュニケーション研究科 情報コミュニケーション学専攻 (修士課程)

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	() []	() []	6 (-) [-]	(-) [-]	6 (-) [-]	(-) [-]	6 (-) [-]	(-) [-]	0.66 倍	
志願者数	() []	() []	6 (-) [-]	(-) [-]	5 (4) [1]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]		
受験者数	() []	() []	6 (-) [-]	(-) [-]	4 (3) [1]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]		
合格者数	() []	() []	5 (-) [-]	(-) [-]	3 (2) [1]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]		
B 入学者数	() []	() []	5 (-) [-]	(-) [-]	3 (2) [1]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]		
入学定員超過率 B/A			0.83		0.5					

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学年	報告年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[]	[]	(-)	(-)	5	(-)	3	(-)	
2年次	[]	[]	(-)	(-)	5	(-)	(-)	(-)	
3年次	[]	[]	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
計	[]	[]	(-)	(-)	5	(-)	8	(-)	

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成20年度 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)	計 []	(累積)計 []	%
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	(主な退学理由)		
平成21年度 (平成21年4月1日～ 平成22年3月31日)	計 []	(累積)計 []	%
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
(主な退学理由)			
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [0]	(累積)計 [0]	0%
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
うち平成22年度入学者 0 人	うち平成22年度 5 人		
(主な退学理由)			

2 授業科目の概要

<情報コミュニケーション研究科 情報コミュニケーション学専攻（博士後期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
各系列科目	研究論文指導 I	1前	2			7 6	2 3				准教授から教授へ昇格の理由により変更 (23)
	研究論文指導 II	1後	2			7 6	2 3				
	研究論文指導 I	2前	2			7 6	2 3				
	研究論文指導 II	2後	2			7 6	2 3				
	研究論文指導 I	3前	2			7 6	2 3				
	研究論文指導 II	3後	2			7 6	2 3				
	情報コミュニケーション学学際研究 I	1前	2			7 6	2 3				
	情報コミュニケーション学学際研究 II	1後	2			7 6	2 3				
	情報コミュニケーション学学際研究 I	2前	2			7 6	2 3				
	情報コミュニケーション学学際研究 II	2後	2			7 6	2 3				
	情報コミュニケーション学学際研究 I	3前	2			7 6	2 3				
	情報コミュニケーション学学際研究 II	3後	2			7 6	2 3				

博士後期課程プロジェクト系科目	先端数理科学 I-A	1前			2				英文証明を考慮し科目名称変更 (23)
	先端数理科学 II-B	1後			2				英文証明を考慮し科目名称変更 (23)
	Advanced Mathematical Sciences I-C	1前			2				英文証明を考慮し科目名称変更 (23)
	Advanced Mathematical Sciences II-D	1後			2				英文証明を考慮し科目名称変更 (23)
	日本古代学 (考古学) I	1前			2				教育課程充実を図るため、科目追加 (22) 担当: 加藤友康 (特任教授)
	日本古代学 (考古学) II	1後			2				教育課程充実を図るため、科目追加 (22) 担当: 加藤友康 (特任教授)
	日本古代学 (歴史学) I	1前			2				教育課程充実を図るため、科目追加 (22) 担当: 神野志隆光 (特任教授)
	日本古代学 (歴史学) II	1後			2				教育課程充実を図るため、科目追加 (22) 担当: 神野志隆光 (特任教授)
日本古代学 (文学) I	1前			2				教育課程充実を図るため、科目追加 (22) 担当: 神野志隆光 (特任教授)	
日本古代学 (文学) II	1後			2				教育課程充実を図るため、科目追加 (22) 担当: 神野志隆光 (特任教授)	

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	博士後期課程プロジェクト系科目の追加による増加
12	—	6	18	12 [—]	— [—]	10 [4]	22 [4]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{18}$$

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	238,187㎡	0㎡	0㎡	238,187㎡				
	運 動 場 用 地	368,691㎡	0㎡	0㎡	368,691㎡				
	小 計	606,878㎡	0㎡	0㎡	606,878㎡				
	そ の 他	307,144㎡	0㎡	0㎡	307,144㎡				
	合 計	914,022㎡	0㎡	0㎡	914,022㎡				
(2) 校 舎	専 用	280,781㎡	0㎡	0㎡	280,781㎡				
	(280,781㎡)	(0 ㎡)	(0 ㎡)	(280,781㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室		演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	教室：用途変更による修正(22) 用途変更による修正(23) 職員：配置変更による修正(22) 配置変更による修正(23)		
	249室 241室	164室 158室 164室	385室 381室	29室 30室 158人 160人 (補助職員+150人)	23室 18人 (補助職員-20人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	情報コミュニケーション研究科(博士後期課程)			9 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機械・器具	標 本	購入による増加(22)	
		[うち外国書]	[うち外国書]						[うち外国書]
	冊	種	点	点	点				
	情報コミュニケーション 研究科	67,600 [26,200] (67,000 [25,700])	922 [527] (922 [527])	4ﾊﾞｯｶｰｼﾞ7,479ﾀｲﾄﾙ 4ﾊﾞｯｶｰｼﾞ7,479ﾀｲﾄﾙ	39678 38276 (38849) (38276)	0 (0)	0 (0)		
計	67,600 [26,200] (67,000 [25,700])	922 [527] (922 [527])	4ﾊﾞｯｶｰｼﾞ7,479ﾀｲﾄﾙ 4ﾊﾞｯｶｰｼﾞ7,479ﾀｲﾄﾙ	39678 38276 (38849) (38276)	0 (0)	0 (0)			
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	23,914㎡		3,110		2,430,416				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	12,449㎡		バレーコート、テニスコート、ゴルフ練習場、プール等						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当たり研究費等	1,813千円	1,871千円	図書購入費	689千円	746千円	875千円	
		共同研究費等	81,069千円	83,684千円	設備購入費	— 千円	1,187千円	1,718千円	
	学生1人当たり 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		800千円	520千円	520千円	— 千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			補助金、資産運用の果実及び寄附金その他の収入をもって維持運営する						

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (23年2月)	文学部心理社会学科の入学定員超過の是正に努めること。	平成23年度入試から入学定員を増員する等、是正に努めている。その結果、定員超過率は是正されている。 (平成23年度入学定員超過率0.99、4年間の平均入学定員超過率1.24)	
設置計画履行状況 調 査 時 (22年1月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

7 その他全般的事項

<情報コミュニケーション研究科 情報コミュニケーション学専攻（博士後期課程）>

(1) 設置計画変更事項等

届出時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学的な教育支援体制に係る諸施策の立案及びその推進を通じて、組織的かつ継続的に教育内容及び教育技法の改善を行うことにより効果的な教育活動の実践を支援・促進することを目的として明治大学教育開発・支援センターを設置している。 ・本研究科では、FD委員会を設置し、教育内容・教育技法並びに指導方法など、具体的な方策を検討している。 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例年年度末に開催し、当該年度の検証及び翌年度の方針を検討する。平成22年度は開催に至らなかった。 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FDの実践方法、学生研究活動の質的向上方策等 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FD懇話会の実施 教員相互の意見交換を通じた意識改革によって、教員の資質の維持向上を積極的に推進する。FD懇話会でのテーマには、学生指導上の課題・問題やそれらの解決策に関する意見交換、関連講義間の内容の調整をはじめ、教員や学生の研究内容・方法・成果に関する議論までも含まれ、単なる学生による授業評価アンケートや小手先の指導テクニック伝授などの皮相的なFD活動に留まらない、研究・教育の有機的連携を可能ならしめる、実りあるFD活動の実践を目指すものである。 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本研究科では、学位論文取得をより円滑にするため、3年次の所定の時期に事前報告会を実施し、研究科教員をはじめ学生等多方面からの講評を得ることで、学位請求論文の質的向上、学位取得促進を図る。 ・毎年度5月上旬にFD懇話会を実施している。ここでは、学生に4月に指導教員の許可を得て提出させる「博士論文作成計画書」「研究計画中間報告書」（2年次）及び「博士論文執筆計画書」「研究計画最終報告書」（3年次）を出席教員全員に配布し、学生の各研究テーマ・方法論に基づいたアプローチ方法、先行研究の紹介、参考文献提示等、一人当たり15分程度、多角的・学際的検証を行なう。 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年度5月上旬、研究科執行部及び研究指導担当教員全員が参加している。 <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員同士の質疑応答結果を指導教員が持ち帰り、指導学生へフィードバックすることにより、短期的には学生の研究内容、長期的には博士学位論文の質的向上を図るプログラムとしている。
--

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

別紙参照

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成24年3月 公表予定

b 公表方法

・自己点検・評価の結果をホームページで公表し、広く学内外から結果に対する意見を聴く体制をとっている。

③ 認証評価を受ける計画

・「大学基準協会」の行う大学評価へ申請を行い、2008年3月に大学基準に適合していると認定された。
その際に指摘された「助言」をはじめとした様々な課題について具体的な改善策のアクションプランを作成するとともに、定期的な認証評価の申請に対応する体制作りを検討している。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (2011年6月公表予定)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(公表した場合、承認する)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.meiji.ac.jp/koho/disclosure/secchi/>)